

市民産業建設常任委員会

議案はいずれも原案のとおり可決

市民産業建設常任委員会は、6月25日(火)委員会を開催し、3件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第54号、議案第55号、議案第57号

【主な質疑】

- 議案第54号に対して
 - Q どの施設が一番利用が多いのか。
 - A 利用料金別にグランドホールが最も多く、次いで、エコホール、メッセホール、第1リハーサル室、楽屋等となっている。
 - Q 減免を受けて利用される団体割合は。
 - A 令和5年度については約6割、令和4年度は約5.5割である。
- 議案第55号に対して
 - Q みずほ文化センター利用者の特徴は。
 - A 落語や演歌などの事業が多いため、家族連れや高齢の方が利用されている。
- 議案第57号に対して
 - Q 規制を厳しくすると人口減少や、空き家が増えるのでは。
 - A この景観の取組により、地域の環境も向上し、市の特徴ある景観が形成していく

と考える。また空き家対策に直接的につながるのは難しいが、観光客の増加、地域の価値の向上が、環境の向上につながると考える。

【主な討論】

- 議案第54号に対して
 - 反対 公共施設は、市民の税金で作られているもので市民共有の財産である。それを維持管理していくのも行政の責任であり、利用料金の値上げは市民に負担をかけるため反対。
 - 賛成 今後維持していくためには多少の値上げは仕方がない。ただ市民が利用しやすいように、利用をしてよかったと思えるように減免規定の見直しも合わせてしていただくことを付け加えて賛成する。

【結果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決

企画総務消防常任委員会

議案は原案の通り可決

企画総務消防常任委員会は、6月26日(水)に委員会を開催し、1件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第60号

【主な質疑】

- Q 9者を指名して3者の応札であり、応札業者が少なく感じるが。
- A 前年、前々年度と6者が応札されているので、半減した状況。昨今の社会情勢で車両の供給が非常に不安定であり、各社とも自社の供給能力等を考慮して辞退されたものと考えますが、正確な理由は把握していない。
- Q 高機能かつ高額な車両だが価格だけで決定したのか。
- A 指名競争入札を行っている。こちらが提示した仕様に対して価格が一番安い業者に決定している。
- Q 車両の更新は計画に基づいて行っているのか、それとも機能の低下によって行うものなのか。
- A 機能低下が現状みられるというものでは

ないが、一定期間使用しているので、使用に伴い経年劣化の部分は必ずあり、それが原因で今後機能が低下して消防活動に支障をきたす恐れがある。更新計画に基づいて、毎年1台の更新としているところ。

- Q ずっと1者からの購入が続いているが他者から購入した実績が過去にあるか。
- A これまで他の業者が落札したことはない。
- Q 旧車処分方法に関して、鉄くず処理になるのはもったいない。必要とする団体があれば声かけを望むが、何団体声かけするつもりなのか。
- A 過去に寄贈した団体としては地元の工場等を除くと、一般社団法人日本外交協会と公益財団法人日本消防協会の2団体となっている。

【結果】

- ・議案は原案のとおり可決





6月定例会個人質問

21人の議員が、市政に対する一般質問を行いました

本会議では、事前申し込みによる手話通訳を実施しています。



ライブ・録画配信の視聴について

本会議は、ライブ・録画配信ともに映像でご視聴いただけます。
 また、常任委員会と特別委員会についても、ライブ配信を映像でご視聴いただけます。
 配信については、左のQRコードまたは「彦根市議会インターネット映像配信」にてご覧ください。
[\(https://www.hikone-city.stream.jfit.co.jp/\)](https://www.hikone-city.stream.jfit.co.jp/)



各議員の質問をQRコードから見る

各議員ページ右上のQRコードを読み取っていただくと、それぞれの議員の質問内容に関する録画映像配信ページにつながります。



野村 博雄議員



資源となる古紙等の回収につき少子高齢化の進展に合わせた施策等が必要では



更なる工夫や周知を行うと共に他市町の事例等調査・研究を進める

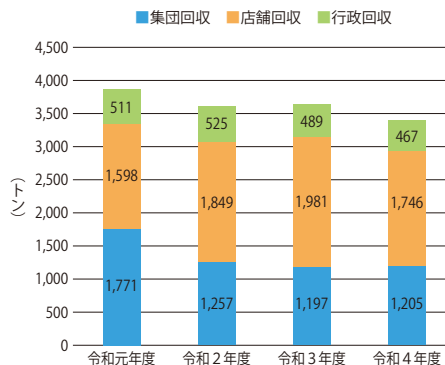


その他の質問

- ・荒神山の駐車場や誘導表示について
- ・交通事故を無くすため歩道やカーブミラー、横断歩道の整備推進について

- Q** 資源となる古紙や衣類の回収について、更なる周知が必要では。
- A** 一層の周知を図ると共に、更に工夫ができないか検討していく。
- Q** 衣類を出す時の注意事項をもっとわかりやすく示せないか。
- A** 今後、イラストや写真等を活用し、より詳しく掲載していく。
- Q** 集団回収の継続が難しくなっている団体への支援は。
- A** 集団回収の必要性の周知を図ると共に、他の自治体の取組状況も踏まえ研究を進めていく。
- Q** 行政回収の集積場所を増やす必要は。
- A** 自治会等に更に協力いただけるようホームページや広報等で一層周知を図っていく。
- Q** 少子高齢化の進展に合わせた施策が必要では。
- A** 少子高齢化に応じたリサイクル推進の新たな取組ができないか、他市町の事例等調査・研究を推進していく。

古紙等資源回収量の推移 (R1~R4)



▲回収区分別の古紙等資源回収量推移



馬場 和子議員

Q さざなみ街道に彦根初の道の駅の設置は賑わい創出につながるのでは

A 費用対効果の高い施設にするための戦略策定が必要であり研究を進める



その他の質問

- ・熱中症警戒特別アラートの運用を受けた熱中症対策について
- ・介護現場の現状と健康寿命延伸の方策について

Q 地場産野菜・近江牛・地ビールとのコラボで「BBQのメッカ」を目指す考えは。

A 市の施設や地元農産物等の魅力をPRする一手段であり、関係機関等と協議しながら実現に向け調査・研究していく。

Q 道の駅に対する市の見解は。

A 休憩機能・情報発信機能・地域連携機能+観光や商業、防災等の様々な機能の組み合わせでまちづくりに貢献でき、併設の物販・飲食・温浴施設など賑わい創出につながる。

Q 彦根の赤鬼魂を發揮し先駆けて、さざなみ街道にピワイチやびわツー（琵琶湖一周ツーリング）と連動した彦根初の道の駅を設ける考えは。

A 複合的な道の駅を設置すれば集客に期待できるが費用対効果の高い施設にするための戦略策定が必要。慎重に研究を進めているところであり、現在、設置の計画はない。



▲複合的な公園として利活用されている湖岸緑地「南三ツ谷公園」



奥野 嘉己議員

Q 指定金融機関(株)滋賀銀行の公金事務取扱手数料値上げへの対応は

A 市長会を通じ、県内他市と連携して対応する



その他の質問

- ・小学校タブレットの使用状況
- ・広報ひこねに無料駐車場券添付を
- ・自治会環境整備作業へのパッカー車手配

Q 2月定例会にて指定金融機関である銀行から、公金事務手数料の値上げの可能性を指摘していた。

今まで年額200万円程度であった手数料が、本年10月から年額1,000万円弱の値上がりとなる議案であるが、その理由は。

A 銀行間の公金振込手数料の有料化に伴い、(株)滋賀銀行の事務経費と合わせた費用負担を求められた。当初の自体内振込手数料1件100円（他行振込162円）の値上げ要求を1件20円（他行振込82円）として妥結しており県内他市と同額。

Q 今後の更なる値上げの可能性はあるなか、他銀行との相見積もりも含め、どのように対応をしていくのか。

A 市長会を通じ、他市と連携し交渉をするとともに、内部努力として振込件数削減に取り組む。



▲市役所一階フロア出納室

